

# 基本目標

## 《時代認識》

「地球時代」

「成熟時代」

「地方創造時代」

の3つの視点から、最新の時代の動きや変化を把握し、長期構想に的確に反映します。

## 《石川の特性》

「地域」

「産業」

「暮らし」

の各分野における、“強み”と“課題”を整理しました。

これらを踏まえ、強みを活かし、課題を克服するための取組みを進めます。

## 《基本目標》

個性、交流、安心のふるさとづくり

人口減少や新幹線の開業、厳しい財政状況など、本県を取り巻く環境は大きく変化しようとしています。これまで掲げてきた「個性、交流、安心のふるさとづくり」という基本目標は、これからも一層重みを持つ、大切な取組指針と考えております。従って、引き続き、この目標を目指していくものとします。

地方創造時代における地域づくりを担う県民の視点から、

- ①身近な「暮らし」に直接関わる分野
- ②県民の活力の源となる「産業」の分野
- ③さらには、それらの基礎となる「地域」づくりの分野

に分けて、望ましい石川の将来像を次のように掲げ、その実現に向けて県民総ぐるみで努力することにより、人口減少・少子高齢化などの状況に適応した社会システムをつくり、石川の活力を維持向上させます。

## 《目指すべき将来像》

魅力と誇りが  
実感できる  
「いしかわ」

活力ある産業と  
働きがいを実感できる  
「いしかわ」

暮らしやすさが  
実感できる  
「いしかわ」

# 目指すべき将来像

3つの“目指すべき将来像”を実現するため、8つの“重点戦略”を立案しました。  
この戦略に基づき、施策を推進していきます。

**将来像 I**

**魅力と誇りが  
実感できる  
「いしかわ」**

地域の魅力に惹かれて人々が交流し、  
住んでいる人が愛着と誇りを持つ  
「いしかわ」を目指して

→ P17

- 重点戦略 **1** 交流が盛んな特色ある地域づくり →P.18
- 独自の観光資源に磨きをかけ、広域交流基盤を整備・活用することで、国内各地域・海外・県内各地域間の交流の拡大を図ります。
- 重点戦略 **2** 個性を活かした文化と学術の地域づくり →P.32
- 高等教育機関の集積や伝統文化を活かしつつ、多文化の共生・交流により、个性的で魅力ある地域づくりを進めます。
- 重点戦略 **3** 自律した持続可能な地域づくり →P.40
- 中心市街地の空洞化や過疎の深刻化などの都市部・地方部それぞれの課題に対応するとともに、共通課題であるコミュニティの再生に取り組みます。

**将来像 II**

**活力ある産業と  
働きがい  
実感できる  
「いしかわ」**

産業の活力を維持・向上することにより、  
誰もがいきいきと働くことができる  
「いしかわ」を目指して

→ P.53

- 重点戦略 **4** 競争力のある元気な産業づくり →P.54
- 地域間競争・グローバル競争を勝ち抜くことができる産業・企業の育成を進めるとともに、地場産業の経営安定化・基盤強化に取り組みます。
- 重点戦略 **5** 魅力ある産業としての農林水産業づくり →P.66
- 「力強い」担い手の育成・確保や、付加価値の高い「売れる」農林水産物の供給を推進するとともに、農林水産業の多面的機能の保全・発揮に向けた取り組みを地域や県民全体で支える仕組みを構築します。

**将来像 III**

**暮らしやすさが  
実感できる  
「いしかわ」**

いつまでも、安心してうるおいのある  
心豊かな生活を一人ひとりが  
送ることができる「いしかわ」を目指して

→ P.85

- 重点戦略 **6** 安全でうるおい豊かな環境づくり →P.86
- 災害に強く、身近な安全・安心が確保され、安全で良質な医療を受けることができる社会を実現するとともに、自然環境の保全、循環型社会への転換に向けた取り組みを進めます。
- 重点戦略 **7** みんなで支える安らぎのある社会づくり →P.104
- お互いが支え合い、子どもや高齢者、障害者を含む全ての県民が心安らかに、生涯にわたり健康でいきいきと暮らせる社会づくりを進めます。
- 重点戦略 **8** 未来を拓く心豊かな人づくり →P.122
- 一人ひとりの個性や適性に応じたきめ細やかな教育を推し進め、未来を切り拓こうとする気概あふれる積極果敢な人づくりと、生涯を通じた学びやスポーツにより、心身ともに健やかで、心豊かな人づくりを目指します。